

# 京大病院 携帯へ医療情報 患者に処方履歴など提供

京都新聞 朝刊  
2008年(平成20年)  
10月18日(土)

京都大医学部付属病院(京都市左京区)は十七日、検査結果や処方履歴などの医療情報を患者本人がインターネットで閲覧できるサービスを開始した。インターネットに接続可能なすべての携帯電話から利用(本人のデータのみ)できる。

医療情報の提供は、京大、京都府立医科大学内の医療団体、医療機関が参加する地域医療情報ネットワーク「まいこネット」を通じて、京大病院の患者を対象に昨年七月から始め、約五百人が利用している。これまではパソコンからの



携帯電話から「まいこネット」を通して閲覧できる本人の診療データ(吉原博幸京都大教授提供)

利用のみだったが、「携帯電話ならもっと手軽に利用できる」とのリクエストを受けて、携帯電話向けサービスを今月から始めた。

登録してパスワードを入れると、京大病院の電子カルテに記された血液検査の結果や処方などのデータを、その日の午後六時以降から閲覧できる。過去のデータも参照できるの

で、健康管理に役立てることができる。患者の許諾によって地域の主治医へのデータ提供もでき、より緊密な医療の連携が可能になるという。

全国的な医療情報ネットワークづくりを進める京大病院医療情報部の吉原博幸教授は「京大病院だけでなく、他の医療機関の参加も広げたい」と話している。